



投信製作所の
日興アセットマネジメント



2011年3月4日

ニュースリリース

日興アセットマネジメント株式会社
株式会社河田

おもちゃで学ぶ”投資信託”
日興アセットマネジメント、ダイヤブロックのメーカー河田と業務提携し、
業界初のコラボレーション始動

～投信メーカー『投信製作所』の活動第1弾、mixiアプリ「ハッピー金活女子診断」デモ版発表～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、日興 AM)は、「ダイヤブロック」を製造・販売する株式会社河田(以下、河田)とプロモーションライセンスとしての業務提携を行ない、業界初のコラボレーション「おもちゃで学ぶ”投資信託”」をスタートします。投資信託には、一般消費財のように手にとったり見て確かめたりすることができず、パンフレットなどの商品説明資料だけではなかなか「実感できない、理解しにくい」という金融商品ならではの課題があります。このたびのコラボレーションは、投資家のみならず投資信託を視覚で感覚的につかんでもいただけるよう、日興AMが投資信託を「見える化」することをめざしたものです。これを皮切りに、日興AMは、ものづくり精神あふれる投資信託のメーカー『投信製作所』としてさまざまな活動を実施していきます。



<「ダイヤブロック」と『投信製作所』コラボレーション会見>



<ダイヤブロックでつくった『投信製作所』>

その第1弾として、金融業界初のダイヤブロックのオリジナルキャラクターが金銭感覚を診断するmixiアプリ「ハッピー金活女子診断」を3月中旬より提供開始します。家庭の資産運用において重要な意思決定者といわれている女性を、日興AMでは重要なターゲット層と位置づけています。彼女たちが楽しみながら気軽に資産運用を考える機会をもてるよう、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)のなかでも特に主婦層の登録率、アクティブユーザー比率が高い※1 mixiで、女性向けの可愛い仕様のゲームを提供することにしました。同アプリのデモ版を、2011年3月3日河田が主催する「2011年 春の提案 in KAWADA」で先行公開しました。

mixiアプリ「ハッピー金活女子診断」とは

「ハッピー金活女子診断」は、ダイヤブロックのオリジナルキャラクターが登場し、ユーザーが選ぶ行動によって、節約や散財の傾向が分かる「金銭感覚」診断アプリです。自分の金銭感覚を知る「金活タイプ自己診断」、マイミク同士のお金の相性を知る「マイミク相性診断」、ダイヤブロックを組み合わせる自分だけのオリジナルをつくる「キャラをつくらう」の3つの機能を通じて、あなたの「金銭感覚」が見えてきます。3月中旬にmixiアプリとして登場予定です。



日興アセットマネジメント株式会社
〒107-6242 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
www.nikkoam.com

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

日興AMプロダクトマーケティング本部長の福永光宏は、「日興AMは、投資信託をつくるメーカー『投信製作所』として、投資信託の正しい使い方や投信会社との付き合い方などをお伝えする活動を昨年より行なっています。このたびの河田とのコラボレーションにより、当製作所は投資信託を目に見える形で紹介するための具体的な活動を開始します。『最適なパーツを組み合わせてつくる』、『知性や創造力が必要』といった点は、投資信託とブロックの共通点であり、『投信製作所』による投資信託『見える化』プロジェクト始動にあたり、河田は最適なパートナーであると考えています」と述べています。

河田オリジナル事業部ライセンス担当の芹沢俊行は、「当社は、来年2012年に創立60周年、そしてダイヤモンド生誕50周年の節目を迎えますが、現在、老若男女問わず楽しんでいただけるブロックの潜在性を広げること注力しています。その一環として、ライセンス事業を新たな事業の柱としてとらえています。このたびは日興AMのめざす『難しいと思われがちな金融商品を、親しみやすいブロックで表現する』というとてもユニークでチャレンジ精神旺盛な発想に共感し、コラボレーションに至りました。今後も、日興AMと協働しながら新たな可能性に挑んでいきたいと思っております」と述べています。

『投信製作所』とは

日興AMは、“ものづくり精神”あふれる投信信託のメーカー、つまり「投信」の「製作所」です。このたび、投資信託という金融商品が「形がない」ゆえに「理解されにくい」という課題に挑み、投資信託を目に見える形で紹介するための活動をスタートします。

日興AMは、「株式」「債券」「不動産」などの金融資産を組み合わせてつくられている投資信託と、創造力や知性を働かせて最適なパーツを選んで組み立てるブロック遊びに共通点を見出し、投資信託を「見える化」するアイコンとしてブロックを活用していくことを決定しました。金融業界でこれまでにない、まったく新しい投資家啓発、プロモーション活動を展開していきます。

今回の取り組みの背景には、長引く不況により社会保障に対する不安が高まっていることが挙げられます。楽天リサーチが2010年に発表した調査結果によると、老後の生活に不安を感じている人は回答者全体の8割に上っている一方、回答者の4人に1人が老後の資金対策を何もしていない、という現状が明らかになっています。^{※2}

日興AMは、今回先行デモ版を公開するmixiアプリ「ハッピー金活女子診断」を皮切りに、『投信製作所』として、これまで投資信託など金融商品を身近に感じていなかった方々にも親近感を持っていただき、より深く理解していただくための活動を、今後も続々と展開していきます。

【投信製作所 今後の活動予定】

mixiアプリ: 儉約派? 散財派? あなたの金銭感覚が分かる「ハッピー金活女子診断」

親子夏休み自由研究: ブロックを使って親子で学ぶお金に対する正しい向き合い方を学ぶ

投信取扱説明書: お金との付き合い方、投資信託の正しい使い方など投資初心者向けのお金トリセツ本

その他、特別ウェブサイトや学生向けイベントなど、楽しい投資家啓発のプロジェクトを続々計画中です。

※1 ママイコ+MMD 研究所調べ、2010年9月

※2 楽天リサーチ調べ、2010年1月

以上

株式会社河田について

社名 : 株式会社河田
設立 : 1952年10月
所在地 : 東京都新宿区大久保2丁目5番25号
資本金 : 1億円
従業員数 : 304名(2010年4月現在)
事業案内 : 玩具の製造・国内販売および輸出入 URL: <http://www.diablock.co.jp/kawada/index.html>

【ダイヤブロックについて】

ダイヤブロックは、発売以来40年以上愛されている教育玩具です。1962年10月、「ブロックキャップ」と呼ばれる鉛筆キャップをもとに生まれ、発売が開始されました。初代のもは白以外はすべて透明のカラーリングで、美しい透明のブロックで作った作品がまるでダイヤモンドのようだったことから『ダイヤブロック』という名前が付けられました。その後、「ダイヤブロックジュニア」、「みんなのまち」、環境対応型ブロック「エコブロック」など数々のシリーズ・ラインナップが登場し、グッドデザイン賞・商品デザイン部門での受賞歴もあります。また2008年には、新たなターゲットに向けた商品として、世界最小級ブロック「ナノブロック」を発売。若い世代を中心に人気を博し、累計200万個以上を販売するヒット商品となっています。

ダイヤブロック URL: <http://www.diablock.co.jp/>

日興アセットマネジメントについて

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

日興アセットマネジメント(以下、日興AM)は、設立以来半世紀にわたり、わが国をリードする資産運用会社として、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、機関投資家のみなさまには投資顧問事業を通じて付加価値のある高品質なサービスを提供しています。

日興AMの投資信託は、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など約200社に及ぶ販売会社のネットワークを通じて、お客さまに提供されています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の多様な運用力を活用して日本の投資家に即した形で商品化する「ワールドシリーズ」プラットフォームを展開することで、お客さまのニーズに合った幅広い商品をお届けしています。

1999年に国内初の社会的責任投資(SRI)ファンドを設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けてISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を2001年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。

また、2010年秋からは自社を『投信製作所』と名乗り、運用会社の役割と投資信託の使い方をわかりやすく伝える啓発活動を行なっています。

運用担当者の責任明確化、調査部門と運用部門の連携強化、リスク管理体制の整備など、これまで運用力向上のため行ってきた取組みが実を結び、リッパージャパン、アジアインベスター、R&Iなどの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興AMグループ*の運用資産残高は約10.3兆円(2010年12月末現在)**に上り、ロンドン、ニューヨーク、シンガポールに海外拠点を有しています。

*「日興AMグループ」とは日興アセットマネジメント株式会社とそのグループ会社の総称です。

**日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)です。